

岡山で育んだ力でアセアンへ積極展開 ライフサイクルコスト削減でインフラ整備

岡山県を中心に日本国内では、土木工事業(ダム、整地、下水、トンネル、橋梁、道路、港湾等の公共工事)、建築工事業(住宅・マンション・オフィスビル、商業施設・福祉施設、公共施設・生産工場等の建設工事)、不動産業、宅地建物取引業を行っている。また、ラオス、タイに現地子会社を設立し、インフラ整備、建設等のビジネスを展開中。

●所在地 岡山県岡山市北区津高140番地の3

●電話/FAX 086-251-3373/086-251-3371

●URL <http://sanko-cothax.jp>

●代表者 代表取締役 村社 勝

●設立 1980年

●資本金 10,000万円

●従業員数 120人



日本の技術のアセアンへ展開

ラオスでは、同じ岡山県内企業である岡山コンクリート工業株式会社と協同して、ラオス南部の経済特区に合弁会社を設立して、プレキャストコンクリート製品(PC)を製造・販売している。また、2019年12月には、首都ビエンチャンに現地法人2社目となるSanko Concrete Lao Co.,Ltd.を設立し、2020年1月より、コンクリートプラント工場が稼働。今後、都市インフラ、住宅、山間部の法面等での活用が期待されている。さらに、タイにも現地法人を設立し、建築業での展開を計画しているなど、日本の優れた技術力を活かして、アセアン諸国への展開を図っている。



ラオス現地法人Sanko Concrete Lao Co.,Ltd.

岡山県と世界を結ぶ

同社では、積極的な海外展開を通じて、高度な製品・技術を海外へ移転するだけでなく、外国人材の育成を通じて、海外と岡山県の架け橋となる人材の育成に貢献することも目的である。同社で育成した人材が、日本および母国で活躍することにより、両国の経済、社会的な発展にも寄与することが期待されている。2011年には国土交通大臣より、建築産業人材確保・育成対策顕彰を受賞した。



高梁川鶴新田河道整備外工事

長期的視野でのインフラ整備に貢献

プレキャストコンクリートの導入は短期的にはコスト増になるであろうが、より質の高いインフラを整えることにより、長期的な維持管理コストの軽減に繋がる。また、維持管理、修復もし易くなるため、長期的な視野では、ライフサイクルコスト低減が図られることで、社会への貢献を果たしていくことになる。2018年、2019年の2年連続で、中国地方整備局より、工事成績優良企業を受賞。



本社社屋